

■STCU-12 ステンレス製カップ (真空断熱構造)

～ 取扱説明書 ～

更新日: 16.04.05

お手入れ方法

清潔に使用して頂くために、ご使用後は、その日のお手入れをしてください。

- お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗い、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
- 長期間使用しない時は、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

本体

○丸洗いができます。

【注意】

- つけ置き洗いはしないでください。
隙間から水が侵入し、腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。
腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。



内容器

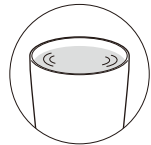
※内容器は下記の方法でお手入れができます。

【斑点状の赤いサビが付着している場合】

水に含まれる鉄分等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、食酢を10%程度加えて約1時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】

水に含まれるカルシウム等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えて約3時間放置後、よく洗ってください。



【汚れや臭い気になる場合】

酸素系漂白剤を内容器に入れ、約30分放置後、よく洗ってください。

△お手入れ上の注意

お手入れの前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 食器洗浄機や食器乾燥器等を使用したり、煮沸しないでください。
変形による保温・保冷不良の原因になります。又、保護シートのはがれ、腐食の原因になります。
- シンナー類・クレンザー・金属タワシ・化学ぞうきん等を使用しないでください。
傷や腐食の原因になります。
- スポーツ飲料等、塩分を含んだ飲料物を入れた場合、ご使用後すぐにお手入れしてください。
塩分による腐食の原因になります。
- 底面の品番シールは、はがさないでください。

商品のお問い合わせに対応させて頂くため、商品の品番・商品名を必ず記入してください。

品番

商品名

STCU-12

ステンレス製カップ (真空断熱構造)

共通 取扱説明書

この度は、お買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。お読みになった後は、必ず保管してください。

この取扱説明書の裏表紙に商品の品番・商品名を必ず記入してください。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

和平フレイズ株式会社

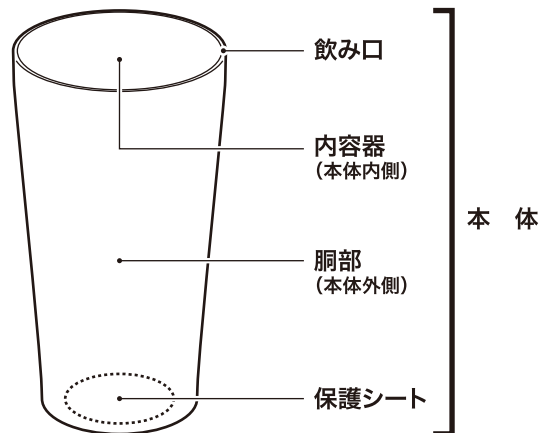
〒959-1292 新潟県燕市物流センター2丁目16番地
0256-66-8511【アフターサービス係】
<http://www.wahei.co.jp>

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~18:00 (土日・祝日は除く)

Q&Aはこちら



各部の名称



●ご使用前に食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗ってください。

※イラストは一般的なものであり、実際の形状とは異なる場合があります。
※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更する事があります。

△取扱上の注意

- 乳幼児の手の届く所には置かないでください。又、いたずらには十分注意してください。
ヤケドやケガの原因になります。

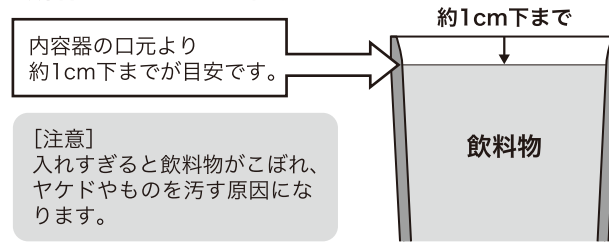


- 飲料物の保温・保冷以外の用途には使用しないでください。

△取扱上の注意

●ご使用になる時は、ヤケドや飲料物の変質・変色、製品の故障・汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。
●こぼれは、ヤケドや他のものを汚す原因になります。

- 飲料物の量は、図の位置以下にしてください。



内容器の口元より約1cm下までが目安です。
[注意] 入れすぎると飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。

※あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。

- 熱い(冷たい)飲料物を入れた場合、飲み口周囲が熱くなる(結露する)事があります。熱い飲料物を入れた場合、ヤケドに注意してください。本体内側の熱が飲み口より外側に伝わり、熱くなる(結露する)事があります。

- コンロやストーブ等、火気のそばには近付けないでください。
ヤケドの原因になります。



- 落とす・ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
変形し、保温・保冷不良の原因になります。



- 飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。
腐敗や変質の原因になります。

- 冷凍庫に入れないでください。
破損の原因になります。

- 飲料物を飲む時は、本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
勢いよく出て、ヤケドの原因になります。



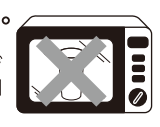
- ケトル等から直接入れる場合、注ぎ口を飲み口に当てないでください。
本体が転倒して、ヤケドやケガの原因になります。

- 熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色や風味が変わります。

- 積み重ねての保管はしないでください。
傷や抜けなくなる原因になります。

- 自動車や自転車の走行中には使用しないでください。
飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。又、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び、ケガやレンジの故障の原因になります。



- 大きな水を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。
飲み口が変形し、保温・保冷不良の原因になります。

- アイスピック等、先のとがったもので突かないでください。
破損や保温・保冷不良の原因になります。

- 不安定な場所に置かないでください。
飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。

- 改造・分解・修理はしないでください。
故障・事故の原因になります。

- 保護シートは、はがさないでください。